

愛知スキー協通信 No.374

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2026年4月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL.052-201-4801(Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：S.C. 直滑降

2026 年東海ブロック競技会（第2戦） & 関西ブロック競技会参加報告

深雪スキークラブ 安藤洋子



2月28日と3月1日に関西ブロックと合同の東海ブロック競技会（第2戦）が行われました。会場は御嶽のパラダイスゲレンデ下部でこの場所で第二戦競技会を行うのは去年、今年と2回目となります。

宿泊は御岳休暇村で、今年は遅い時間からの宿泊も受け入れてもらえることになり大変助かりました。昨年私は軽自動車ですべて下から上までずっと運転したのですが、時間までに到着しなければならないあせりもあって、途中で足が痙攣してしまい、気を張って運転した精神的な疲労と両方で、競技が始まる頃にはやる気をすっかり失せていました。今年は大きな車を持っている方の車に乗せてもらったので、それが効を奏して去年より楽しく競技に参加できました。

昨年の大会で計時、記録、ゴールの計測や表彰式、賞状作成、などなど大活躍してくれた児玉さんと岩井さんが今年は体調不良のため参加できず、私が代わりに頼まれたのですが、大会の流れを把握できていなくて、皆に迷惑をかけてしまいました。

1日目のスラロームの大会は気温が高かったため雪面がかなり荒れてしまいました。2日目のジャイアントスラローム大会も気温は高かったのですが、その割にはバーンは荒れていなくて滑りやすかったです。スキー場がしっかり圧雪してくれたのと、大会役員のコース整備係の方がこまめにコース整備をしてくれたおかげだと思います。野沢温泉スキー場でポール練習を行う時は、コースに硫安（硫酸アンモニウム）を撒いて雪面を固まらせてから行うのですが、御嶽は国立公園内なので硫安をまけないそうです。硫安を撒くと過栄養になってしまい、植物の生態系を壊すとのこと。自然を相手のスポーツなのでそれもやむを得ない事なのでしょう。

大会役員が少なくなってしまう中で、慣れないことも多かったのですが、協力して楽しい大会となりました。



第52回全国スキースノボー競技大会大回転・回転（結果報告）

2026年2月21日～22日 湯ノ丸スキー場 主催・主管：全国勤労者スキー協議会、関西ブロック
愛知スキー協関連のみ（敬称略）

大回転男子7部	4位	三宅幸一	直滑降
大回転男子5部	12位	寺田康男	イエティ
大回転男子2部	4位	澤田知希	イエティ
大回転男子1部	1位	寺田幸平	イエティ
回転男子7部	3位	三宅幸一	直滑降
回転男子5部	10位	寺田康男	イエティ
回転男子2部	4位	澤田友希	イエティ
回転男子1部	2位	寺田幸平	イエティ
団体では愛知県は第3位でした			



S.C.直滑降「さよならスキー」 ～まだまだ雪はたっぷり～

長野県木曽吊開田高原マイアスキー場

開田高原マイアスキー場に「さよならスキー」として3月21、22日に行ってきました。春スキーとしては、たくさんの雪があり、2日間とも天気も良く、十分に春スキーを楽しむことができました。

今回、スキー初心者（男・30才）が参加しましたので、感想を掲載します。

初めてスキーに挑戦した。経験者に教えてもらいながら、八の字ブレーキに取り組んだ。自分では八の字を作っているつもりだったが、全然ブレーキがかからなかった。

しばらくすると板で雪面を削る感覚がわかってきて、減速したり曲がることができた。しかし、左足と比べて右足のブレーキが弱く、長い間苦戦した。

二日目の終了一時間前くらいにかろうじて初心者コースで滑れるようになった。（加藤）

参加者は4名と少なかったのですが十分に楽しい「さよならスキー」となりました。



全国山スキー部50周年記念行事 「魚沼すきー（SKI）」

2/27～3/1、全国山スキー部50周年記念行事の「魚沼すきー（SKI）」に参加しました。A:山スキー（守門岳） B:里山登山（大力山） C:基礎スキー D:コブ講習 E:ボードコース F:フリーコース と山スキー以外にも楽しめる充実した内容でした。全国から36名、愛知からはぶなの木3名、深雪2名の計5名が参加しました。（浅井）

暖かいもてなしに感謝



魚沼産の米で餅つき



近くの目黒邸前で記念撮影

魚沼スキーのチラシ見てイベントも楽しめそうと、山スキーコースに参加。

2/28(土)終日雨降り、守門岳の山スキーは中止となり、取り次ぎ口まで確認しに行き、戻る途中、魚沼 SC リーダーの知人宅（東京から移住）にお邪魔し、茶を頂き、皆で自己紹介。その後、小雨だったので近くの廃止になった越後アクシオムスキー場跡から滑り降りた頃に本降りに。昼食は魚沼 SC リーダーお勧めの蕎麦屋（はつ穂）で食事。お勧め通り美味しかった。その後、日帰り温泉（寿和温泉）へ。戻ると程なく宿の裏庭でイベント（餅つき大会・魚沼の日本酒飲み比べ・お漬物各種）。小雨のなか皆、楽しく飲み食い、僕は漬物をつまみに飲み比べどのお酒も美味い！少し多め？に飲む。

次は、本場魚沼の餅米の突立ての餅をいただく。噛み応え良く、味良し！あとで夕食がでるのに、何皿も食べてしまった！皆、笑顔がこぼれていた。

3/1(日)曇り模様で、残されたスケジュールは昼過ぎまで、目黒邸（旧里家住宅）冠木門前にて記念写真後、昨日とは違う旧大原スキー場で山スキー。11時までハイクアップしたところで丁度登りきり、そこで記念写真。うっすらと見える越後三山を見ながら行動食を食べ、そこから一気に麓まで滑降したところで解散。

今回の行事で感じたことは、温暖化の影響を身近に感じ、天候にも恵まれませんでした。魚沼スキークラブの方々、又、宿の女将さん・地域住民の暖かいもてなしを受け、魚沼の皆様と親睦出来たことに感謝します。又、この企画にご尽力頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。

大変ありがとうございました。（奥山）

第7回 ぶなの木 フェスタ in 白馬

日程：2026 年 3 月 14 日（土）～15 日（日）

場所：白馬山麓(栂池高原・白馬乗鞍高原)



2019 年から実施しているクラブ恒例行事「ぶなフェスだよ！全員集合」も今年で第 7 回目を迎えました。場所は 2 年続けた妙高から 3 年振りに白馬に戻り、栂池の「ホテルイブプラザ」に宿を取り、総勢 50 名で 3/14(土)～3/15(日)の日程で行いました。

約半数の人が 3/13(金)前泊して明日からの山行に備えます。3 年前のフェス

では暖冬雪不足に加え、雨～みぞれ～雪の天候の為不完全燃焼だったのでリベンジです。

当クラブ員の地域別構成は東海地方 65%、関西地方 15%、関東地方 10%、その他 10%、年齢別構成は 20 代～80 代の老若男女で構成する 80 人の大所帯なので本「ぶなフェス」は一同が集う貴重な行事となっています。夕食後には各自が持寄った「お土産」「新品・旧品 スキー道具・山道具」「サプライズ品」を交換する「大じゃんけん大会」でおおいに親交・友好を深め合いました。またクラブ員の連帯、PR を図る為に 4 か月を掛けてクラブロゴマークを制定しロゴ入り T シャツを作りフェス当日に配布しました。写真撮影の為にその T シャツをお披露目で着用しています。本番の雪上行事は体力、足前、志向別に①山スキー組初級 ②山スキー組中級 ③山スキー組上級 ④ネイチャースキー組 ⑤ゲレンデスキー組に分かれて各 Gr が春山を楽しみました。

今年は天候にも恵まれ大きな事故怪我もなく、予定通りの行程を終え 2 日間の日程をこなした充実感と共にシーズン終盤の行事へのモチベーションを更にアップして散会、愛知・岐阜・三重・滋賀・京都・奈良・大阪・富山・長野・群馬・埼玉・東京へと岐路につきました。（文責：藤田信）



山スキー組



山スキー組



山スキー組



山スキー組



ネイチャースキー組



ゲレンデ組

青森県からの大雪レポート 全国スキー協小川理事長（青森市在住）より

青森スキー協 竹とんぼスキークラブ 小川洋

私が住んでいる青森市は例年、気象庁観測地点で 60 cm の降雪が観測されますが、今年は観測史上過去最高の 181 cm の降雪が観測されました。

余りの降雪量により交通は寸断され日常生活に甚大な支障が起きました。

主要幹線道路の除雪もままならず連日大渋滞。通常 30 分の距離を 2 時間かけて移動する有り様。路地に入るとあちこちで車がスタックしていました。本来なら車がすれ違える道路が人 1 人が歩くのがやっとと言う状況が 1 ヶ月以上続きました。

私は自宅前のスペースに車を駐車しているのですが除雪が間に合わず友人宅に車を置かせて貰いました。

例年開催している毎週土曜日のスキー例年もスキー場に行けずに 3 週続けて中止となりました。

ところが 3 月に入ると気温が一気に上がり積雪は 35 cm まで減り、このままでは例年より早くスキー場がクローズしそうです。写真は自宅前の様子です。



Mt. 乗鞍スノーリゾートについて

【経緯】 2024 年 10 月 4 日に運営会社(株)Blue Resort 乗鞍から今季の営業を続けられないとのことで、地元からスキー場を支援する有志の会（36 名）を立ち上げて継続に向けて金銭支援とクラウドファンディングでの運転資金を要請する行動が始まりました。支援金申込は 3,500 万円に達しスキー場営業継続が決定しました。

私たちも、東海ブロックスキー協議会 75,000 円 ぶなの木スキークラブ 125,000 円、深雪スキークラブ 10,000 円を支援しました。

～中日新聞 2026/1/3 から抜粋～

スキー場を「冬の観光業において重要な拠点」と、有志でスキー場運営協議会を立ち上げ、クラウドファンディングを開始。資金を集め、何とかスキー場の存続にこぎ着けた。昨シーズン初めて「地元主体」で営業、さらに次のシーズンも「地元主体」を継続。

生き残り策の一つが、家族連れを取り込むマーケティング戦略。「このスキー場は斜面が緩くて、雪質も良い」。18 歳以下のリフト券を無料化する大胆なサービスが功を奏し、24～25 年シーズンの来場者数は約 4 万 3000 人と前シーズンの 20% 増に。大人の来場者も増え、売り上げも 20% ほど伸びた。

運営を引き継いだ協議会の山口さんら 7 人が役員を務め今季は 12 月 13 日に営業を開始した。「白馬村のスキー場のように混雑しない。リフトも待たずに乗れる」。空いているゲレンデ環境を逆手に PR に努め、小学生以下の子どもに近くの温泉施設の無料券を配るサービスも始めている。

運営の傍ら、協議会が取り組むのは将来の運営を担う事業者の誘致だ。譲渡先を探す上で、スキー場経営のロードマップとなる「マスタープラン（基本計画）」策定が必要だとし、12 月下旬には、協力を求める要望書を松本市に提出した。

協議会のメンバーがそれぞれ本業と二足のわらじでスキー場運営を続ける中、地域の宝を新たな担い手に引き渡すのが今の目標。「将来に向けてよい礎が築けるように。持続可能なスキー場になるように」。山口さんは心に期している。

全国山スキー部 乗鞍大滑降 連絡先:事務局 佐藤文彦 携帯090-9199-8856



期間:5/3(日)～5/4(月) (5月3日天候不良の場合、5月4日行事実施)

宿:美鈴荘 〒390-1512 松本市安曇檜ノ木 4805-49 TEL0263-93-2330

申込締切:4月9日(木) ※詳細スケジュールと必携品は、参加者へ別途案内